

<経歴>

日本体育大学教授。東京学芸大学卒業。

東京学芸大学大学院修了。

小学校教諭、教育委員会、文部科学省スポーツ青少年局教科調査官、国立教育政策研究所教育課程調査官を経て、平成25年4月より現職（日本体育大学体育学部教授）。

文部科学省では「小学校学習指導要領解説体育編」「幼児期運動指針」の作成に携わる。

現在は、日本体育大学スポーツプロモーションオフィス・オフィスディレクター、JICA（青年海外協力隊）技術顧問（体育・スポーツ部門）、日本フラッグフットボール協会理事、世田谷区体力向上・健康推進委員長、日本体育科教育学会理事などを務める。

現在は例え運動が得意でなかった教師でも自信を持って体育を教えられるようになる事を目指し、「小学校体育における教師効力感に関する研究」をテーマに研究を進める傍ら、大学の職務の合間をぬって全国で研究会等の講師を務める。また、ここ数年は、ウガンダ共和国、パラオ共和国など開発途上国の体育普及に取り組んでいる。

日本体育学会、日本体育科教育学会、日本発育発達学会、日本スポーツ教育学会、日本幼少児健康教育学会、日本教科教育学会、日本運動・スポーツ科学学会所属

◇研究論文（査読論文）

○小学校教員の体育科学習指導と行政作成資料の活用に関する研究（スポーツ教育学研究）ほか

主な著作物

「7日間で授業のつくり方をマスター体育指導超入門」（2020年 明治図書出版）

『これだけは知っておきたい「新体育授業」の基本』（2019年 東洋館出版）

「小学校体育はじめの一步」（2019年 光文書院）

『小学校体育 これだけは知っておきたい「体づくり運動」の基本』（東洋館出版社）、

『学校にはなぜ体育の時間があるのか？』（文溪堂）、

『小学校体育授業の重点指導（全3巻）』（明治図書出版）

「低学年体育の基本（東洋館出版）」

「新学習指導要領の展開（明治図書）」など